

のう じ でん そう

## 農時電送

水稲 No.③

JA 新函館・若松支店

JA きたひやま

JA いまかね

檜山農業改良普及センター

せたな地区水稲部会・北檜山町農協地区水稲部会・今金町稲作部会

檜山北部支所 (84-5514)

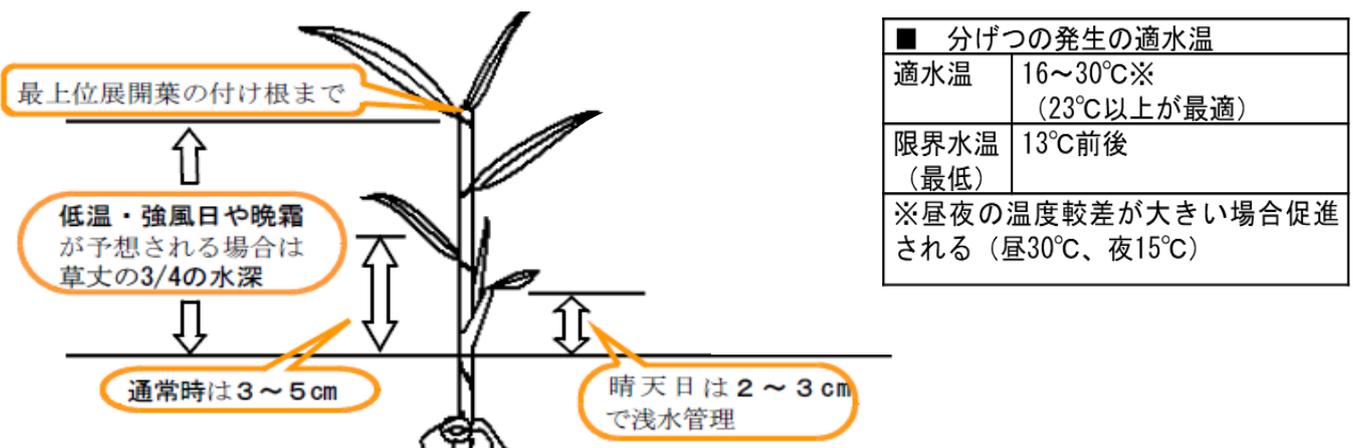
水稲の生育は、5月の高温多照と移植後の好天により、活着は順調で、生育も平年より2～3日早く進んでいます。

今後2週間の気温は、「低い」または「かなり低い」で推移する予報です。薄日が差せば水温は上昇しますので、「日中は止水」で水温を高め、分けつの促進に努めましょう。

雑草の発生も見られるので、除草剤は使用適期内の早めに散布しましょう。

## 1 水温を高め分けつの促進を！

～入水は、用水温と水田水温の温度差が少ない「夜間から早朝」に！～



## 2 育苗跡地の管理 ～苗床の地力増進・健苗育成のために～

## (1) えん麦のは種 ～成苗の置床鎮圧育苗実施ハウスは、物理性改善のため検討しましょう～

ア は種時期：6月中旬（できるだけ早めには種し、7月中旬にはすき込みましょう）

イ は種量：100坪当たり4～5kg程度（10a当たり12～15kg）

ウ 施肥量：窒素3～5kg/10a、リン酸6kg、カリ3～5kg

※置床施肥を実施している場合は、無肥料とします。

## (2) 育苗（床土・置床）の土壌診断実施

～土壌の養分バランスが崩れている場合があります。以下のような場合は分析を！～

ア 育苗中に第1葉の葉先が褐変する（リン酸過剰障害(=苦土欠)）

イ 苗の伸びが悪い（低pH以下。えん麦の伸びも悪いです）

ウ 苗立枯病が発生（pH5.5以上で発生しやすい）